

## 志賀原子力発電所2号機 タービン潤滑油の漏えいについて

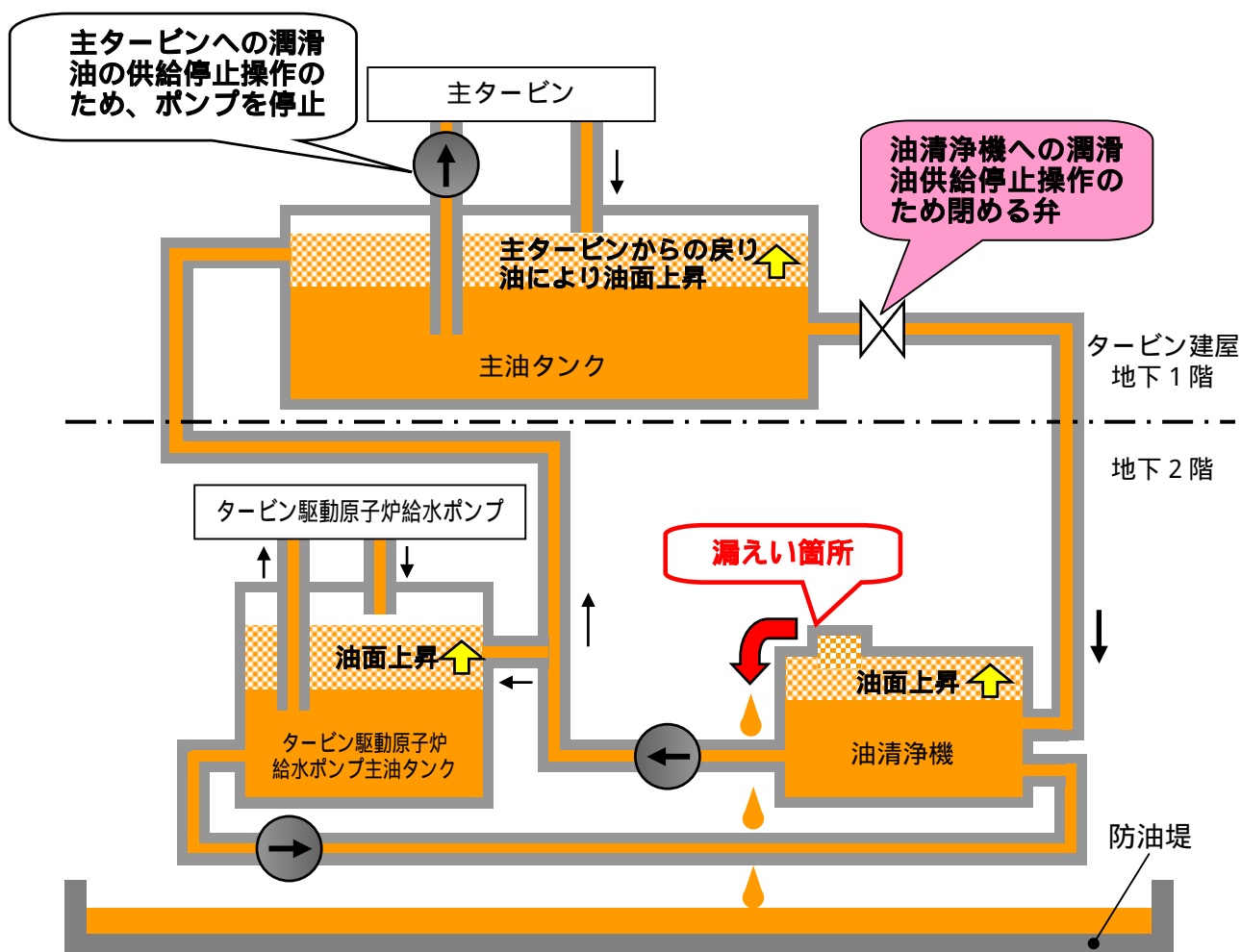
第2回定期検査中の志賀原子力発電所2号機において、7月16日(木)21時20分頃、タービン建屋地下2階にある油清浄機\*からタービン潤滑油が漏えいしているのを運転員が発見しました。漏えいした油の量は約11.5m<sup>3</sup>で、全て防油堤内に留まっていた。漏えいした油から放射能は検出されず、外部への放射能の影響はありません。

漏えいの原因は、主タービン潤滑油の供給停止操作を実施した際、油清浄機への潤滑油供給停止操作を行わなかったため、主タービンからの戻り油が油清浄機に流入し、ここから漏えいしたものです。また、タービン潤滑油関連の警報が発報しましたが、対応が遅れていました。

再発防止対策として、手順書の改善を行うとともに、発生した警報に対して適時的確に対応することを再周知しました。

\*：油清浄機

主タービンおよびタービン駆動原子炉給水ポンプの潤滑油を浄化する装置。



タービン潤滑油系統 概要図